

山形県村山市

むらやま議会だより

-2026-
2.1
vol.128

令和7年
12月定例会

ぎ
か
い
の
し
ご
と
知
っ
て
ほ
し
い
こ
と
伝
え
た
い
こ
と
を
お
知
ら
せ
し
ま
す

TOPICS

- ◎ しんしゅんていだん 新春鼎談
- ◎ 12月議会「代表質問」



むらやまの冬景色から
大淀ビューポイント初冬



てい だん 鼎談

— 村山市名誉市民 村川透 監督 —

■ 映画監督 ■ 村山市楯岡出身 ■ 昭和12年生まれ

松田優作主演のハードボイルド映画「蘇える金狼」「野獣死すべし」などの監督として知られ、「探偵物語」「西武警察」「あぶない刑事」など多くの人気ドラマシリーズを手掛けた名匠。

明けましておめでとうございます

村山市名誉市民であります、映画監督の村川透氏と細矢清隆議長、吉田創副議長による新春鼎談を議長公室にて行いました。



村川透監督

細矢議長

村山市で過ごした幼少期を振り返って、何が大切だと思えますか。

村川監督

末っ子の私は、人間は一人で生きられるものではないと、父からは厳しくしつけられました。長男で兄の千秋（山形交響楽団創設者）からは怒られたことがあります。私は人を守り、助けることが好きです。

私の映画は義理人情が強く現れていると言われるますが、それは末っ子として母の愛情に喜びを感じた経験や、父から「人のために尽くせ」と教えられてきたことが根底にあります。

細矢議長

私は昭和20年代生まれなので、義理人情の話は非常に心があります。また、私も「人のために尽くせ」とよく父に言われていました。

吉田副議長

監督が映画の世界に入られたきっかけについてお聞かせください。

村川監督

父が長男の千秋に買ってきた映写機がきっかけです。

当時は家長制度が根強く、フィルムを独占していた兄が皆に見せるといふ構図が生まれ、その映像に心を奪われ強く引きつけられました。戦時中は映写機にカバーをかけて光がもれないように隠れて見るほど夢中になりました。

千秋が音楽を志した際、父と対立しても曲げなかった芯の強さも、私に影響を与えました。

吉田副議長

家長制度と戦時中の話が印象に残りました。千秋氏の生き方は、監督の芯の強さの指針になったのです。

今回の作品で村山市を舞台に選んだ理由をお聞かせください。

村川監督

「村山市ってどこにあるの」と言われると、認知されていないことが悔しく、生まれ育った村山市の美しさと、その魅力を「知らしめる」必要があると思っただけです。

細矢議長

今までの監督が携わってきた多くの作品は、深い意味合いのある映画でした。このたびの映画は、村山市の良さを十分に味わえる作品であると感じています。

吉田副議長

監督が、村山市を知らしめる必要があるとおっしゃっていたことに、深く共感しました。



細矢清隆議長



お知らせ！

村川透監督が故郷の村山市で撮影した新作ハードボイルド映画「LAST DANCE 最後の遊戯」（仮題）が今年公開予定です。

細矢議長

村山市の子どもたちに向けて、監督からメッセージをお願います。

村川監督

『自分の志は折れるな』ということですが。故郷は、命と共に天から授かった唯一無二なものですから、自分では選べません。その故郷に「志」を持ち、魂を守っていければ、必ず道は開けます。

細矢議長

村山市では妊娠から高校卒業まで手厚くサポートしています。このサポートを受けた子どもたちが、故郷に恩返ししたいと思ってくれることを、常に願っております。

吉田副議長

ここで育った恩というものは、子どもたちに伝えて欲しいです。ご飯がおいしいとか、人が優しいといった当たり前の良さは、都会に出て初めて分かるものだと思います。映画でそういった部分も見られることを期待しています。

細矢議長

最後に村山市に期待することをお聞かせください。

村川監督

一人ひとりが村山市の未来を真剣に考え、楽しい人と手を結び、具体的な話をしながら進めていくべきです。私は自分の人生をかけて、故郷に恩返しをしたいと思っています。



細矢議長

監督の志という言葉には、非常に感銘を受けました。この志を胸に抱き、市民の皆さんの幸せと安全を実現できる村山市を作っていきたいです。われわれ議員も、志を一つにして素晴らしい村山市を築き上げていきます。

吉田副議長

村山市をロケ地にして映画を制作してもらったことで、村山市を知る人が増えると思います。映画をきっかけに村山市に来てくれる人がたくさん増え、道の駅やまちなかの開発と合わせ、賑わいが起きればいいと期待しています。今後よろしくお願いたします。



吉田創副議長



しを守る

総額203億6,660万円

12月 定例会

令和7年第5回定例会は11月28日から12月16日までの会期で開催され、条例6件、補正予算5件、その他7件の議案を原案のとおり可決しました。

農業振興事業



ス遮光幕などへ補助を行います。

高温少雨に対する、揚水ポンプ購入、井戸掘削や園芸ハウス

2,918万円

鳥獣被害対策事業



クマ捕獲器や猟友会用装備品の購入など体制を整備するため、市有害鳥獣対策協議会への負担金です。

クマ捕獲器や猟友会用装備品の購入など体制を整備するため、市有害鳥獣対策協議会への負担金です。

192万円

市有財産等管理事業



新「道の駅」の建設や葉山学園改築のために積立てるものです。

18億5,370万円

予防接種事業



高齢者带状疱疹の予防接種が令和7年度から定期接種の対象になったため、接種件数の増に対応します。

高齢者带状疱疹の予防接種が令和7年度から定期接種の対象になったため、接種件数の増に対応します。

871万円

一部事務組合議会議員

東根市外二市一町共立衛生処理組合

議運委員 瀧田 順子 監査委員 石澤 祐一
議員 中里 芳之

北村山広域行政事務組合

議長 大山 正弘 議運委員 矢萩 浩次
議員 高橋 卯任

北村山公立病院組合

副議長 細矢 清隆 議運委員長 柴崎 亮太
議員 秋葉 新一 議員 高橋菜穂子

河北町ほか2市広域斎場事務組合

副議長 吉田 創 議運副委員長 松倉 慶子
議員 阿部 正任

山形県後期高齢者医療広域連合

議員 柴崎 亮太

11月臨時会において、各一部事務組合議会の議員を選出しました。



冬の東沢バラ公園

市民のくら

一般会計予算 22億5,292万円を追加し

気になる！ 新「道の駅」



載荷重工法で地盤を沈圧中



村山市公式キャラクター
ムララ

審議結果報告

(12月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ					市政クラブ				改革クラブ	賛成	反対			
			松倉慶子	田中正信	矢萩浩次	石澤祐一	大山正弘	秋葉新一	細矢清隆	森直也	瀧田順子	柴崎亮太			高橋菜穂子	吉田創	高橋卯任
市長提出 第61号 村山市立学校設置条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	13	1
市長提出 第62号 令和7年度村山市一般会計補正予算(第7号)		可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	13	1
市長提出 第70号 村山市にぎわい創造活性化施設の指定管理者の指定について		可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	11	3
市長提出 第72号 村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	13	1	
市長提出 第75号 令和7年度村山市一般会計補正予算(第8号)		可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	13	1	

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。 [可] = 可決 [否] = 否決 [○] = 賛成 [×] = 反対 [欠] = 欠席 [退] = 退席 [議] = 議長 [裁] = 裁決

審議討論

中里芳之議員より反対討論がありました。

議案第70・72・75号について



動画はこちら

代表質問

会派 市政・公明クラブ



動画はこちら

●新「道の駅」の方向性について

●村山市の将来は

10年後・20年後の人口構造の予測は？

●スマイルプロジェクト事業の効果は？



石澤 祐一 議員

人口減少対策について

Q 11月1日の村山市の人口は2万903人になった。人口動態の分析と本市の将来像、10年後20年後の人口構造の予測について伺う。

A 令和7年3月に公表した山形県の調査によると、本市の人口は自然動態が345人の減、社会動態が115人の減で合計460人の減となっている。若者を確保して出生数を増やして行くことが得策で、子育てスマイルプロジェクトを継続していくことが重要だ。人口予測は令和17年は1万6808人、国立社会保障・人口問題研究所による人口予測推定と比較して383人上回る。令和27年には1万3760人と、予測と比較して662人上回っている。

少子化対策について

Q 子育てスマイルプロジェクト事業の実施状況と効果・課題について伺う。

A 事業は6年目になる。令和7年度の予算は3億9083万円で、結婚から出産・育児・就学までの切れ目のない支援を行っている。令和7年度の新入学児童数が、出生数を上回った。転入増加など一定の成果が出ている。

駅西開発について

Q 新「道の駅」の方向性、現在考えられる予算総額と資金計画について伺う。

A 道の駅の方向性は国では第1ステージは旅の休憩所。第2ステージは目的地とされる。第3ステージは地域連携と町ぐるみの取り組みで地域を活性化する拠点を目指す道の駅で、全国に10か所、本市は東北で唯一選ばれている。現在の予算総額は4億5千万円だが、昨今の建築

資材などの高騰により今後増加すると考えている。資金計画として国の第3ステージ支援および一体型道の駅として整備するので現時点での試算として総事業費の約4割を負担金・交付金を見込んでいく。



新「道の駅」をはじめ駅西が変わります！

中心市街地開発について

Q 村山駅東部地区の飲食店や住宅の解体が進んでいる。今後の開発について伺う。

A 県が行っている駅前交差点開発は、店舗や住宅の買収で発生した残地について、地権者と今後の利活用に向け個別に相談や意見交換を実施している。また、民間事業者との話し合いも出てきている。



どんな村山駅前になるか楽しみ！

代表質問

会派 市政クラブ



動画はこちら



柴崎 亮太 議員

●人口減少社会に対応したまちづくり

東部・西部地区の未来像の構築を!!

●ふるさと納税の活用を

チャレンジ企業への支援を!!

東部地区の将来について

Q 東部地区については本市の経済の中心である事、そして現在整備が計画されている新「道の駅」を中心としたまちづくりに大いに期待が持てる。人の流れが一気に変わること、新たなビジネスチャンスが生まれる事も予想される。より踏み込んだ企業に対する支援策が必要と考える。また、道の駅のリニューアルに併せて観光全般に運動させる必要があると考える。東部地区の今後について考えを伺う。

A 本市には現状、目玉となる観光資源がない。新しい発想をしなければならぬ。過剰に投資をするつもりはないが、今ある観光資源をアップデートして効果的に事業を進めたい。企業支援には力を入れていかなければならないと考えている。



新「道の駅むらやま」完成までの道のり

西部地区の将来について

Q 西部地区については令和10年に開校を目指すしている葉山学園を中心としたまちづくりが重要と考える。教育に特化したエリアとして、はやま認定こども園や学童保育の施設整備などについて伺う。

A 西部地区に対する投資については何をすれば良いか判断が難しい。葉山学園を中心に教育施設をまとめるのが理想だが、予算の関係で難しい。とりあえずは現状のまま、5年後あたり人口や今後の流れを見ながら検討していきたい。

予算編成について

Q 本市の今後の予算編成について、特に先が不透明かつ不安定な財源であるふるさと納税については、より成長性のある投資的事業に予算配分をすべきと考えるが、方針について伺う。

A ふるさと納税の今後はわからない。制度がある今のうちにさまざまな事業を進めていき次の世代につないでいきたい。



村山市立小学校の統合スケジュール
【統合までの進め方(スケジュール・日程の指針) 総合基本計画より】

代表質問

会派 改革クラブ



動画はこちら

●公約の具体的な内容は？

●市民の生命と財産を守る

万全な体制で市民に安心安全を!!

●持続的発展への有効な戦略である

観光政策の推進を!!



高橋 卯任 議員

市長選挙時の公約について

Q 選挙時に掲げた公約中の、①「子どもたちが夢を持てる環境整備」②「高齢者の待遇と環境改善」③「基幹産業である農業と商工業の発展」とは具体的に何か伺う。

A ①葉山学園は義務教育学校という新しいタイプであり、統合を機に教育を一層充実させることが夢を持てる環境と考えている。②会員が減少してきている老人クラブやシルバー人材センターの活動を支援することで、高齢者の外出を促し健康増進を後押しする。③近く農家が激減すると言われていたが、若手農業者にさまざまな研修の機会を提供するなどの支援、ブランド化を見据えた重点作物への継続した注力、商工業では、創業や空き店舗を活用した開業などへの支援の継続を考えている。

クマ対策について



日常生活を脅かすクマ問題

Q 全国各地でクマによる人身被害や農作物被害が深刻化している。本市でも連日出没しており、人身被害こそ発生していないが、市民の生命と財産を守るための喫緊の課題と考える。人の生活圏へ出没した場合は、緊急銃猟で確実に捕獲すべきではないか。

A 柿などの餌のある場所を覚えてしまおうとそこに頻繁に出てきてしまえば非常に危険なため、確実に捕獲するようにしたい。

Q 今後の対策として、ゾーニング管理や誘因物管理の徹底も重要と考えるがどうか。

A まずは出没時の対応として、今後も警察や猟友会との意思疎通や連携を図ってこの問題に対応していく。関係職員や猟友会の出勤も増えていることなどもあり、環境整備も含め改良しながら対応していく。

観光振興について

Q 本市への人口減少社会がもたらすデメリットを少しでも解消するために、いまこそ観光政策に注力すべきと考える。東沢公園やジュンサイ沼などをはじめさまざまな地域資源を活用し、観光政策に注力することは、地域活性化、市の魅力発信、関係人口の増加が期待され、本市の持続的発展への有効な戦略と考えるが、観光政策に対する考えを伺う。

A 費用対効果を意識して取り組んでいる。現時点においては、本市への大幅な観光客の増はないと考えている。インバウンドに関しては、現在の社会情勢も踏まえ、もう少し情勢を見極めることがこれからの観光政策ではないかと考える。



全国唯一の居合神社

防災対策および 消防の機能強化について

田中 正信 議員



動画はこちら



Q 日本列島に恐ろしい大震災が次から次へと続いている。そして多くの人の尊い命を奪い、家や橋などのインフラに甚大な被害をもたらしてしまう。「防災対策の基本的な考えについて」伺う。

A 減災は「自助」と「共助」が要素の9割を占める。年に1度、地区を変えて行う市の防災訓練や出前講座を通じ、市民が経験を基に行動できるように備えている。

Q 災害時には、「水」の問題が深刻である。井戸を所有する市民に呼びかけ、災害時に井戸用水を利用できるように事前に登録制度をつくってはどうか。

A 個人所有のものであり、先行事例を参考に研究したい。

Q ドローンを活用する機運が高まっている。本市も、ドローンを活用し、災害時に備えてはどうか。

A 取り組みについて検討したい。

Q 全国的には、男性の消防団員が減少する中、女性の消防団員が15年間で倍増している。かつて消火や救助など「力仕事のイメージ」が強かったが、消防団の状況は大きく変わっている。女性消防団にかける期待について伺う。

A 赤ちゃんから高齢者までを守っていくなかで、女性の力は大きい。さらなる増員に向け取り組む。



救出救助訓練実施中

防災対策は？ 地区に防災士を

瀧田 順子 議員



動画はこちら



Q 土砂災害危険区域内に、避難場所が指定されている点について伺う。

A 被害想定区域の見直しにより、ハザードエリアに含まれてしまったケースがある。これらの避難場所は一時的な避難を目的としており、ハザード外への広域避難は課題である。今後、安全な避難誘導となるように整備を検討していく。

Q 防災訓練に若者や子育て世代の参加者を増やすための取り組みについて伺う。

A 一人でも多くの住民に参加してもらおうことが大切だと認識している。地域の危険箇所を点検する「防災まち歩き」など、家族で楽しく参加できる企画を、他自治体の事例を参考に研究していく方針である。

Q 第6次総合計画に記載された「自助・共助・公助を強化し、災害に強い安心できるまちづくり」の具体的な対策を伺う。

A 各地区での防災訓練や「出前講座」の申し込みが増えていることから、市民の防災意識は向上していると認識している。しかし、大規模災害時には即時対応が困難になるため、市民が自らの命を守り、地域で協力し助け合う「自助・共助」が不可欠となる。

Q 各地区に防災士がいることで自助・共助を高めることができるかと考えるがどうか。

A 日頃からの防災意識の醸成により、災害現場での混乱が軽減され、避難が円滑になり被害を抑制できる。防災士が、継続的に防災教育やアドバイスなどを行うことで、効果はさらに大きくなると考えられる。



いざ!!という時の防災マップ

「救急あんしんカード」の活用について

松倉 慶子 議員



動画はこちら



一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

Q 本市では緊急事態に備えてかかりつけ医や持病などの情報を記載した「救急あんしんカード」を活用している。意識がない、うまく伝えられないといったときに便利である。現在の活用状況と課題を伺う。

A 傷病者の医療情報が分からない場合に、冷蔵庫や玄関などに保管されている「救急あんしんカード」から情報を取得している。これまで救急隊員が利用したケースが複数あり、傷病者と共に搬送先の医療機関に渡している。隊員からは搬送先を決めるにあたり、これまでの医療情報・かかりつけ医や常備薬の情報が取得できて良かったとの意見があった。

Q 普及状況、費用、今後の課題について伺う。

A 対象者は全市民で費用は無償である。1927人が作成しており、広く普及している。課題は、マイナ保険証との連携がないため医師が必要とする情報が、取得できないことである。延命や緩和希望など必要な情報の項目を増やし、来年度より更新する予定である。

Q 高齢者世帯の家族が安心できる安否確認サービス

A セロン東北に委託し、要支援・要介護者で65歳以上の一人暮らしの高齢者世帯を対象に安否確認のため、緊急通報装置とペンダント型の携帯機を年間2000円で貸与し、支援している。

Q もしもの時の対策の拡充について伺う。

A 現在やれることはすべてしている。民生委員やいきいきネットワークで横のつながりは充実している。これ以上何かあれば検討の余地はある。

Q 「救急あんしんカード」は災害時、避難場所への持ち運びも可能。さらに普及に努めていくべきである。



あなたの命を守る
安心キット

不登校を『命の問題』ととらえ対応を

中里 芳之 議員



動画はこちら



Q 第2次安倍政権下で不登校が3倍に急増。本市でも急増している。「過度な競争」にあるとの国連の勧告を無視し、財界の求める人材養成のための「教育改革」の結果だ。不登校問題の克服には、教育政策を改める必要があるのではないか。

A 経済を優先すれば競争・成果主義になるし、安全保障を優先すれば愛国心や管理の視点が教育に流れてくるのは否定できない。

Q 不登校は子どものせいではなく、子どもが心に傷を負っているため、これを土台にすることが大事ではないか。

A そこが一番大事だ。

Q 前議会でも不登校への対応を問われた際の答弁は、「学びの保障」を一番の課題としており、「心のケア」が出てこない。教育機会確保法も文科省も「個別最適化」を方針としている。しかし大切なのは「個人の尊重」であり、真っ先にすべきは心の傷をケアすることではないか。

A それは当然だが、基礎的な学力もつけなければならず、そのせめぎ合いだ。

Q 文科省は「社会的自立へのリスク」に留意せよとしているが、自殺のリスクへの考慮は示していない。G7で子どもの自殺者数1位は日本。子どもの死因の1位が自殺なのは日本だけ。不登校を「命の問題」ととらえることが大事ではないか。

A 心の傷まで踏み込める現場の力がな



2025年5月23日 日本共産党「不登校についての提言」より
※SC=スクールカウンセラー



学びを市政に 活かします

～村山市の未来のために～

会派視察

●市政・公明クラブ

令和7年10月16、17日
静岡県、神奈川県

都市構造再編集中支援事業

●10月16日
●静岡県掛川市

立地適正化計画を定める地区において、市や民間事業者などが行う医療、社会福祉、教育文化、子育て支援などの都市機能や居住環境の整備、道路、公園、防災力強化に対し、総合的に支援しています。

特に「安全、安心・快適に住み続けられる活気のあるまち」下垂木地区での民間の力を借り、宅地造成や調整池、河川の整備実施は、大変に参考になりました。

(一社)グローバルスポーツアカデミー

●10月16日
●静岡県静岡市

放課後児童クラブの運営理念は、子どもたちが「やりたいことに挑戦できる」、共働き家庭が「安心して選べる」放課後



Crazy Lab 事業内容の説明を受ける

環境。民間ならではの柔軟な運営で、家庭や地域のニーズに対応し、学びと体験の場の提供、子ども自らのイベントやプロジェクトの活動企画、地域・企業との連携がしっかりしていました。

民間の強みとして、プログラミングや習い事が充実しており、選択肢のある放課後が子どもたちの一日の楽しみになっている点が大変魅力的でした。

結婚支援

●10月17日
●静岡県三島市

出生数の減少に歯止めがかからない状況のため、多様な世代の職員による「少子化対策検討会」を立ち上げ、市長へ政策提言を行い「ハッピーマリッジ事業」を実施しています。

スポーツ観戦縁結びツアー、民間企業との連携によるクッキング体験や街歩きを通じた縁結びイベント、謎解きロゲイニングイベント開催など、数多くの施策を展開中。当市でも参考にしたい施策でした。

フォレストアドベンチャー・小田原

●10月17日
●神奈川県小田原市

専用の安全ハーネスを装着し、森の木から木へ空中移動していくアウトドアパークです。地域資源を生かしながら、環境・経済性を高め「遊びと自然保全」を両立していました。



専用の安全ハーネス

広報広聴委員会 議会報研修会

令和7年11月6日
新庄市

山形県市議会議長会主催の議会報研修会が、新庄市民プラザで開催され、当委員会7委員で出席しました。

講師に広報アドバイザー 矢嶋洋美 氏を迎え、「議会だよりをより強力なツール 定期診断から見える進化とNEXTSTEP2025」を受講しました。

議会だよりは、発行部数の多さというアドバンテージを持つコミュニケーションツールであることを改めて認識しました。これまでは、議会の報告や対談が主な内容でしたが、これからは自由度の高い紙面や、議員が住民に取材したものを掲載するなど、住民がより関心を持てる内容に変化・進化させていくことが必要と感じました。

当委員会でも新しい試みを取り入れ、市民の皆さまが手に取って読みたくなる議会だよりとなるよう取り組んでいきます。



誰もが読みたくなる紙面に！



市民の声

～ 猟友会の活動 ～

「猟友会」は野山を駆け巡り獲物を捕獲したり、射撃の知識や技術の向上を目指して競技をしたりと、趣味と実益を兼ねたスポーツのグループです。



村山市猟友会 会長
はやさか かずよし
早坂 和芳さん
(楯岡)

今から45年ほど前は140名ほどの会員がいましたが、現在は50名となり、とても寂しい想いです。以前は、ウサギなどによる農作物被害のため有害鳥獣駆除がありましたが、近年はサルやハクビシン・カラス・イノシシ・ニホンジカやツキノワグマなどによる農作物や人的被害防止のため、市より捕獲実施隊員として委嘱され、被害を無くすため会員一同精一杯頑張っています。

この「猟友会」の活動には、山形県や村山警察署・JAみちのく村山、そして村山市と市議会など関係各位のご支援とご理解をいただきとても感謝しています。また、事故防止や射撃技術の向上を目的とした大会実施や会員増加のためのイベントを開催したり、クマ出没時の人的被害防止のため、小学校や地域からの要望により開催する学習会は大変好評をいただいております。

最後に、多くの方々から「猟友会」に関心と興味を持っていただき、市民の安心安全の確保のため、会員が1人でも増えますことを切望しています。



クマ捕獲！



みんなで作り上げた初めてのイベント、鴨そば うまかった～



あ と が き

広報広聴委員会は、新たなメンバーでスタートしました。市民の皆さまにその時々を知っていただきたいことをスピーディーにわかりやすくお伝えし、身近で開かれた議会を目指していきます。



- 委員長 吉田 順子
副委員長 瀧田 創
委員 松倉 慶子、森直子、高橋 卯也、阿部 正任、田中 正任、田中 浩信、矢萩 順次、瀧田 順子、吉田 創

広報広聴委員会

村山市議会ウェブサイト

村山市の議会や議員のことについて、くわしく紹介しています。ぜひ、アクセスしてみてください。



村山市議会

